

地下の正倉院展

木簡と科学の町山Ⅱ

平城宮跡資料館

令和3年度

秋期特別展

多礼唱 第六卷

螺貝

菜灰一畝右物今急要須祈付休

府身可 菌却伊賀麻々 雪牛養
丸人足 鳥取堅

駿河國新井郡新井村春日山平島調者大塚高村守伍南

後水殿器盤
中見蓋殿盤
而細器木

会 期

令和3年10月9日(土)

▶ 11月7日(日)

1期：10/9(土)～10/24(日)

2期：10/26(火)～11/7(日)

月曜休館 / 9:00～16:30
(入館は16:00まで)

入館無料・駐車場無料

TREASURES FROM UNDERGROUND

* 資料保護の観点から約2週間ごとに展示替えをおこないます。

* YouTube「なぶんけんチャンネル」にて研究員の解説を配信予定。



【展示構成】

- ・ 木簡の年輪を測る
- ・ 木簡の口タテを色らせる
- ・ 木簡のウラをよむ
- ・ 木簡を複製する
- ・ 木簡を守り伝える

【出品】

平城宮・京跡出土木簡ほか 約50点

奈良文化財研究所平城宮跡資料館では、毎年、秋期特別展として「地下の正倉院展」を開催し、平城宮・京跡出土木簡の実物展示をおこなっています。

本年は「木簡を科学するⅡ」と題し、木簡のモノ（木製品・木質遺物）としての性質に着目した分析・調査や、自然科学分野の手法を応用した木簡研究の最新成果をご紹介します。

2014年の「地下の正倉院展」では、木簡の樹種や保存処理の方法、木製品としての特質などに焦点を当てた展示をおこないました（「木簡を科学する」）。本年の展示は、その続編に位置づけられます。文字資料としての側面に注目が集まりがちな木簡に対して、通常とは少し異なる切り口から光を当てる展示となっています。また、最先端の調査・研究の成果から、将来の、さらには未来の木簡研究のあり方にも想いを馳せていただけますと幸いです。

電車で来られる方

近鉄大和西大寺駅北口から東へ徒歩10分

車で来られる方

平城宮跡資料館北側駐車場（無料）



* 会期など今後の諸事情により変更となる場合があります。ホームページなどでご確認ください。

独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所
平城宮跡資料館

<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/>
お問い合わせ：TEL 0742-30-6753（連携推進課）

【主催】独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

【後援】文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、平城宮跡管理センター、平城京再生プロジェクト、読売新聞社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、木簡学会